**Ⅱ　教育指導計画書に係る事項の作成**

**１　学校の概況**

○　作成の手順と留意事項

①　学校の概況については、児童生徒数の欄の（　）内は、特別支援学級の児童生徒数を内数で記入すること。学級数の（　）内は、特別支援学級の内数を記入すること。

②　教職員は、県費負担教職員とする。ただし、市町費負担教員については、（　）内に教員数を外数で記入すること。また、常勤及び非常勤の講師の数は、助教諭・講師の欄に記入すること。

**２　教職員名簿**

○　作成の手順と留意事項

①　教職員名簿の校長、副校長・教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、講師、養護教諭（養護助教諭）、栄養教諭、事務職員、学校栄養職員の順、及び出勤簿順とすること。

②　主な校務分掌の欄には、主任・主事名等を記載する。ただし、市町費負担教員については、その旨を記入すること。

③　どの学校も、校内研修担当者名、学力向上コーディネーター名、人権教育担当者名、特別支援教育コーディネーター名、道徳教育推進教師名､ 中核教員（外国語教育担当）名を記載すること。

**３　学校の実態**

○　作成の手順と留意事項

①　地域の実態

・　地域社会の環境（自然、産業、経済、文化等）の特性及び保護者の教育的関心や学校 への期待について記入すること。

・　一般的な地域の特性だけでなく、学校の教育活動に生かせる地域（物的条件、人的条件、文化的条件）の実態をとらえること。

②　学校の概況

・　学校の沿革及び研究歴等、昨年度までの学校経営の重点と成果・課題等について明記すること。

・　これまでの学校の沿革や研究歴を振り返ることによって、学校の特性とともに学校の　　　　不十分な要素を見出せるようにすること。

③　児童生徒の実態

 ・　これからの学校教育の在り方として、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、社会と協働しながら、未来の創り手となるために必要な知識や力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現を図り、新しい時代に必要となる資質・能力を育成することを基本的なねらいとしている。

 　 　この視点から特に、次の観点に留意して児童生徒の実態をとらえること。

○　生きて働く「知識・技能」の習得について

○　未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成について

○ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養について

**１　学校の概況**

**学　　校　　の　　概　　況**

 **【小学校】**

※ 児童数の欄の（ ）内は、特別支援学級の児童数を内数で記入すること。

※ 学級数の欄の（ ）内は、特別支援学級を内数で記入すること。

※ 教職員は、県費負担教職員とする。ただし、常勤及び非常勤の講師の数は、助教諭・

講師の欄に記入すること。また、市町費負担教員については、（　）内に教員数を外数

で記入すること。

※　小学校英語教育に係る中核教員とは、平成３０年度及び令和元年度に実施した「小学校教員の英語力向上研修」の受講者、または平成２７年度から平成３０年度に実施した「小学校教員の英語力・指導力向上研修」の受講者のこと。中核教員が校内に不在の場合や、外国語教育を推進する担当者が別にいる場合は、外国語教育の推進担当者名を記入すること。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学 校 名 |  |  |
| 所 在 地 |  |
| 校 長 名 |  | 副校長・教頭名 |  |
| 児 童 数 | １ 年 | ２ 年 | ３ 年 | ４ 年 | ５ 年 | ６ 年 | 特別支援学級 | 計 |
| （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） | （ ） |  | （　） |
| 学 級 数 |  |  |  |  |  |  |  | （　） |
| 教 職 員 数 | 校長 | 副校長･教頭 | 主幹教諭 | 指導教諭 | 教諭 | 助教諭･講師 | 養護教諭 | 栄養教諭 | 事務職員 | 学校栄養職員 | 計 |
|  |  |  |  |  | （　） |  |  |  |  | （　） |
|  教務担当主幹 教諭名 教務主任名 |  | 校内研修担当主幹教諭名校内研修担当者名 |  |
| 保健主事名 |  | 生徒指導担当者名 |  |
|
|  学力向上 コーディネーター名 |  | 人権教育担当者名 |  |
|  特別支援教育　コーディネーター名 |  | 道徳教育推進教師名 |  |
| 中核教員（外国語教育担当） |  |  |  |
| 学年主任名 | １ 年 |  |  ４ 年 |  |
| ２ 年 |  |  ５ 年 |  |
| ３ 年 |  |  ６ 年 |  |

**学　　校　　の　　概　　況**

 **【中学校】**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学 校 名 |  |  |
| 所 在 地 |  |
| 校 長 名 |  | 副校長・教頭名 |  |
| 生　徒 数 | １ 年 | ２ 年 | ３ 年 | 特別支援学級 | 計 |
| （ ） | （ ） | （ ） |  | （　） |
| 学 級 数 |  |  |  |  | （　） |
| 教 職 員 数 | 校長 | 副校長･教頭 | 主幹教諭 | 指導教諭 | 教諭 | 助教諭･講師 | 養護教諭 | 栄養教諭 | 事務職員 | 学校栄養職員 | 計 |
|  |  |  |  |  | （　） |  |  |  |  | （　） |
|  教務担当主幹 教諭名 教務主任名 |  |  校内研修担当 主幹教諭名校内研修担当者名 |  |
|  生徒指導担当 主幹教諭名 生徒指導主事名 |  | 進路指導担当主幹教諭名進路指導主事名 |  |
|  保健主事名 |  | 学力向上コーディネーター名 |  |
|  人権教育 担当者名 |  | 特別支援教育コーディネーター名 |  |
|  道徳教育推進 教師名 |  | 学年主任名 | １年 |  |
|
| ２年 |  |
|  |  |
| ３年 |  |

※ 生徒数の欄の（ ）内は、特別支援学級の生徒数を内数で記入すること。

※ 学級数の欄の（ ）内は、特別支援学級を内数で記入すること。

※ 教職員は、県費負担教職員とする。ただし、常勤及び非常勤の講師の数は、助教諭・

講師の欄に記入すること。また、市町費負担教員については、（　）内に教員数を外数

で記入すること。